

多治見市まちづくり活動補助金を活用したい人のための

はじめてのプレゼンテーションづくり



自分の住むまちをより良くしたい！



1 プレゼンテーションづくりはむずかしくありません

いざ、多治見市まちづくり活動補助金を使って活動したいとエントリーしたけれど

「プレゼンテーションなんてやったことないけどどうすればいいの…」

と悩んでしまう方のためここでは順をおってプレゼンテーションづくりをお伝えします。

やりたいことがはっきりしていれば、プレゼンテーションづくりはむずかしくありません。

是非、次ページからの内容を参考にプレゼンテーション資料づくりにトライしてください。

では、多治見市まちづくり活動補助金での発表を例に話をすすめていきます。

**やりたいことが決まっていれば
1つずつ取り組んでいけば大丈夫！**



2 補助金を使ってやりたいことは？～伝えたいことの確認～

多治見市まちづくり活動補助金を獲得するには申請書を作成し、市役所の担当窓口に期限までに提出するところからはじまります。

この申請書には、ご自身のグループのこれまでの活動内容等と合わせて以下の項目を記入するところがあります。

- ① 補助金を使ってどのような活動するか
- ② 活動にはどのくらいの費用がかかるのか
- ③ 補助金を使って行った活動は
どのような効果があるのか(メリット)

上記の3つの項目のうち、プレゼンテーションでは発表時間内に①と③を伝えることが大切です。

プレゼンテーション資料を作る前に今一度伝えたい、実施したい内容は何かの確認を行いましょう。



3 プレゼンテーション資料づくりの第1歩 ～発表時間確認～

プレゼンテーション資料づくり(以下「プレゼン資料」)でまず確認したいこと。

それは、資料を使って発表できる時間がどれだけあるのか、ということです。

気持ちを込めてたくさんのプレゼン資料を作っても、やりたいことを上手く伝えられずに説明時間が終了してしまう、ということがよくあります。

補助金の募集要項などをよく読み、発表時間をしっかりと確認しましょう。

**発表途中で時間切れ！
ということにならないように。**

多治見市まちづくり活動補助金の発表時間は
原則として5分となっています。

※ 応募団体数によって変更になる場合もあるので必ず確認を！



4 発表する内容の順番を考えましょう

発表時間の確認が取れたら、次は、その時間に合わせた内容の順番を考えましょう。

以下が多治見市まちづくり活動補助金の発表時間や発表方法です。

【発表時間】 5分

【発表方法】 パワーポイント^(注1)を使って発表

5分という時間でどのように発表するか
次のページから具体的な作業に入りましょう。



(注1)

パワーポイントはプレゼンテーション用ソフトの名称です。

パソコンを使って紙芝居のようなスライドを作っていきます。

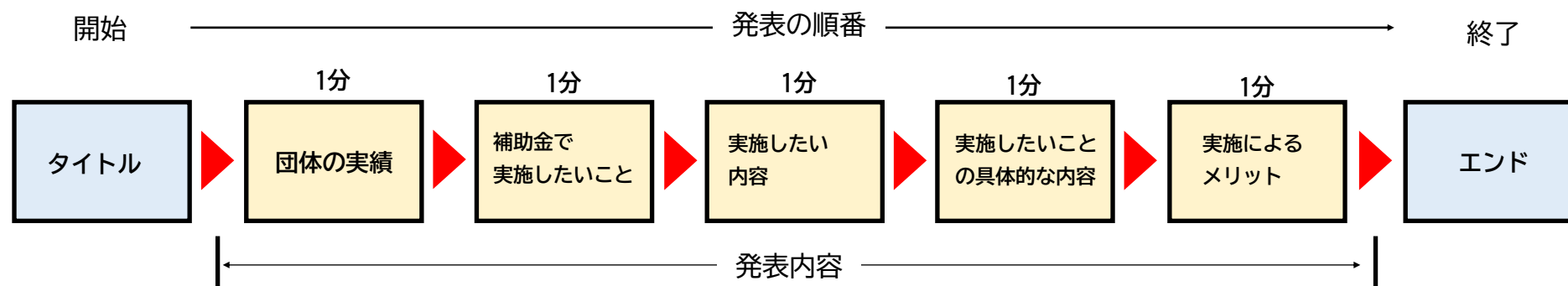
パワーポイントの使い方はここでは説明しませんので、詳しいことをお聞きになりたい方は、ぽると多治見にお問合せください。

5 発表する内容の順番を決める

5分で発表する内容の順番を決める方法はいくつかありますが、はじめての方にとってオススメするのは、まずはスライド1枚に対して1分で話すという方法です。

1分で1枚のスライドですから、全部で5枚のスライドを作ればよいということです。

具体的なイメージの例は以下の図のようになります。



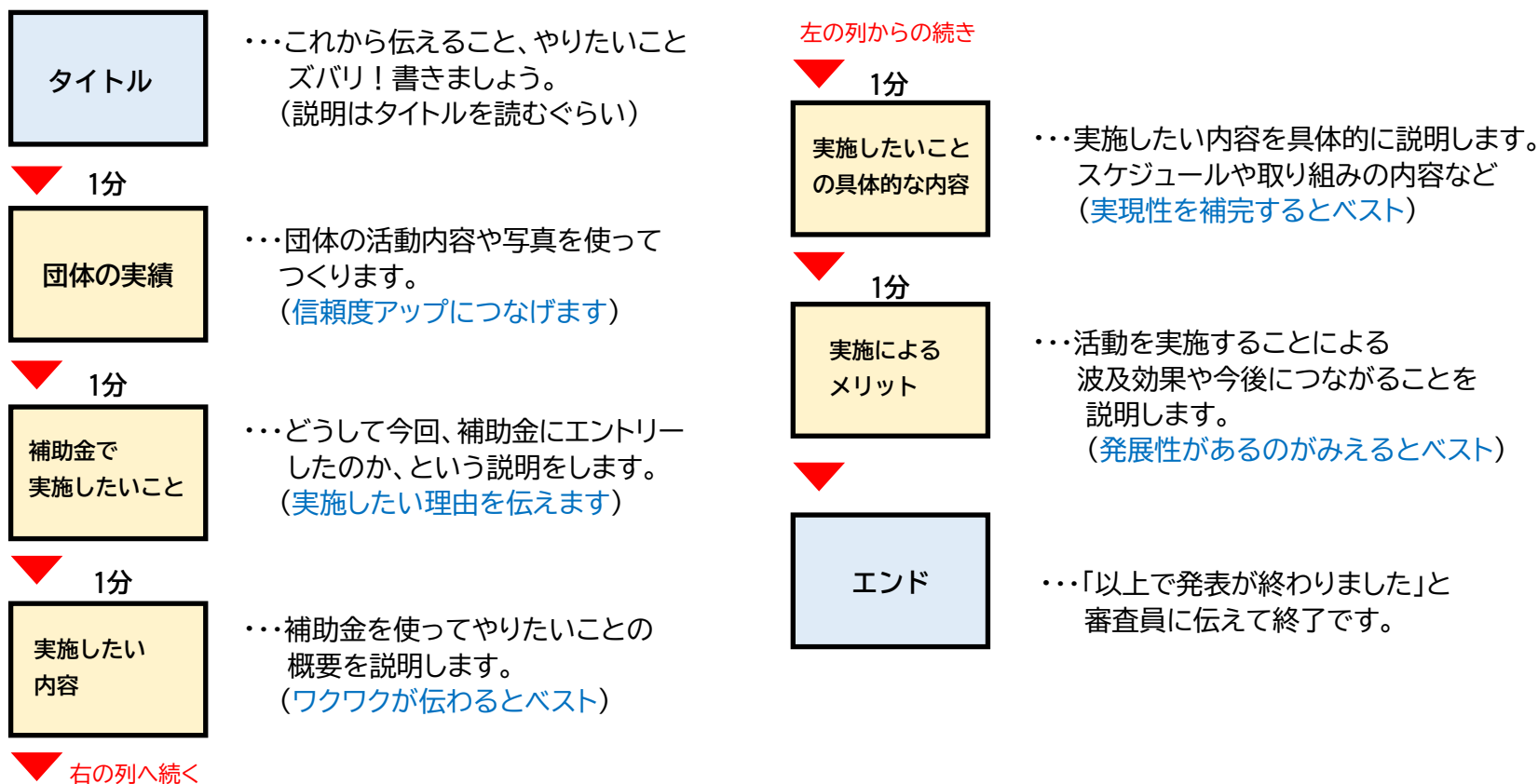
▲ 発表内容をスライドにすると ① 時間配分がしやすい ② 話を端的にまとめやすい といったメリットがあります。このスライド1枚に対して1分で話す内容の原稿を作れば、伝わりやすくなる、という訳です。

発表時によく起きるミスは、自分の団体の活動内容を知ってもらおうとして、補助金でやりたいこと以上の時間を団体の活動の説明に使ってしまうというものです。何を伝えるためのプレゼンなのかを考える意味でも、このスライドを用いて内容の順番を決めることはとても大事である、と考えます。

6 発表する個々のスライドの内容を作る

発表内容の順番が決まったら、次は個々のスライドの内容を作っていきます。

スライド1枚ごとの内容はすでに申請書に記入していると思いますので、該当箇所を1分以内に話せるようにまとめて作ると良いでしょう。



伝えたいこと
沢山あるとは思いますが
そこはまとめてね！



6-1 各スライドの作成例 ～団体の実績～

ここからはイメージがわきやすいように例を用いて説明していきます。

まずは団体の実績です。自分たちのグループのこれまでの活動が伝わりやすいように活動時の写真や会員・メンバーの写真などを用いてつくると良いでしょう。

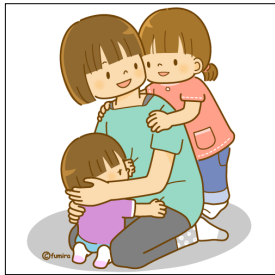
【ポイント】パッとみたときの印象を大事にするのが良い！！

写真をいれることで
日頃の活動の雰囲気が
伝わりやすくなるほか
見映えもします。

■ 子育て応援団ぽかぽか ってどんな団体？



【子育て応援団ぽかぽかについて】
「子育て応援団ぽかぽか」は子育て講座を通じて仲良くなったお母さんたちを中心に2015年に生まれた活動団体です。
現在、主な活動として、市内の公民館で、絵本の読み聞かせ会や子育てに悩みを抱えるお母さんたちの相談会などを通じて、ぽかぽかしたあたたかい気持ちで子育てを楽しんでもらえるよう活動を行っています。



【子育て応援団ぽかぽかの主な活動】
・絵本の読み聞かせ会(毎月第1・3土曜日)
・心配ないよ！話して解決！子育て相談(毎月第2木曜)
・公園おひさまウォーキング(春・秋にそれぞれ1回開催)

この例では、話す内容を文章にしていれてみました。

この他にも

- ・活動写真を増やす
- ・団体の年表を示す

など、団体の取り組みがわかる構成にして発表原稿を読んで説明するという方法もあります。

6-2 各スライドの作成例 ～補助金で実施したいこと 1～

3枚目と4枚目のスライドで活動の具体的な内容を説明します。

3枚目のスライドではやりたいことへの気持ちが見る人に伝わるようなページにすると良いでしょう。

【ポイント】 やりたい気持ちが見る人に伝わるページにしよう！

この例では、これから作成するチラシをイメージしたものになっています。

チラシは多くの人に手に取ってもらえる要素を含んで作成しているので、やりたい気持ちを伝える点では最も良いと思います。

【実施したいこと】「ニコニコ子育てフェスティバル」の開催！



プレゼンテーションのキモとなる部分
ですので楽しい雰囲気が伝わるように
丁寧に作りましょう。

6-2 各スライドの作成例 ～補助金で実施したいこと 2～

4枚目のスライドではより具体的な活動内容を伝えます。

イベント名と目的にあった内容やいろいろなグループの協力を得て盛り上げていくという内容とすることで3枚目のスライドのイメージがよりハッキリと伝わりやすくなります。

【ポイント】 やりたい気持ちが見る人に伝わるページにしよう！

「ニコニコ子育てフェスティバル」の内容

 子育てオススメ えほん図書館	子育てお助け 便利グッズ 販売 	記念の1枚！ 親子で 写真撮影 
親子で参加しやすく、タメになるイベントを盛り込んで開催！		
 子育てアイテム フリーマーケット	楽しく食育 お料理教室 	市内でガンバル 子育てグループ 紹介コーナー

イベント内容がどのようなものかを目にみえるかたちにして伝えます。
個人・グループの関り方やイベント規模がわかることで、申請した団体の補助申請金額が適正かどうかの判断材料の一つとなります。



6-3 各スライドの作成例 ～補助金で実施したいこと 3～

ここでは、自分たちが事業を行える力があることを訴えるため、事業当日を迎えるまでのスケジュールや人を集めるための方法など事業を成功へ導くための取り組み方を説明します。やりたいことを実現するための過程を伝えるページにしましょう。

【ポイント】自分たちの事業を成功へと導くための取り組み方を伝えましょう！

ソフト事業については具体的な計画を説明することで、説得力や信頼感が増します。やります！という気持ちはあるけど実現性に乏しい、という印象を与えないようにすることが大事です。



「ニコニコ子育てフェスティバル」開催までの取り組み

ステップ1 フェスティバル実行委員会の発足
子育て応援団ぽかぽかが中心となり
日頃から協力している団体と実行委員会を発足



ステップ2 イベント参加団体の募集

ステップ3 参加団体会議の開催(各ブースの活動内容の確認 等)

ステップ4 広報活動の実施(チラシ作成・配布 等)

ステップ5 会場準備活動の実施(備品の搬入、物品の購入 等)

ステップ6 ニコニコ子育てフェスティバル 開催！



この例で言えば、フェスティバルの開催のために何が必要かをゴールからスタートに向かって考えていくと、どの段階でどこまでやっておくと上手くいくかが浮かんでくるようになります。

実現性が高まれば、実現にむけて助けてあげたいという気持ちが高まります。審査員のハートをつかむページを心がけましょう。

6-4 各スライドの作成例 ～実施によるメリット～

発表をまとめる最後のページは、自分たちが今回、補助金を活用して得られるメリットを伝えます。自分たちの活動を通じて「取り組みを行うことで発生するまちへの効果」「取り組みによって期待される変化」などについて期待を込めて盛り込みましょう！

【ポイント】私たちの取り組みによる「まち」「地域」への効果を伝えましょう。

例では、審査員に目で追ってもらえるよう説明文をつけて簡条書きで表記しています。

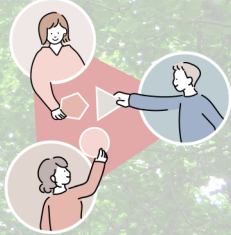


「ニコニコ子育てフェスティバル」により期待される効果

効果 その1
多くの市民の皆さんにグループの活動を知っていただくことで、子育て環境について一緒に考えていく機会を広げられる。
⇒ 私たちの活動への支援(ボランティアや寄付等)につながることを期待

効果 その2
イベントに参加したグループ間の交流を通じて、今後の活動を協力して行っていく機会が増える。
⇒ より多くの方たちへ効果的なPRが可能となる。

効果 その3
将来的には、こうした取り組みが広がり、子育てサポートが充実しているまちとしての認知度が高まり、様々な活動が活性化していく。⇒ そのキッカケの第1歩としたい。



効果について、たくさん浮かんでくる場合は、もっとも効果が大きいと期待できるもの、自分たちが事業やイベントを通じて一番期待する効果を表記しましょう。表記していない効果についても、口頭で簡単に説明するというのもよいでしょう。

7 発表原稿を作り、練習を行う

スライドが完成したら、発表原稿に取りかかります。1枚のスライドで約1分の説明におさめるようにします。スライドをガイドとすれば、原稿も作りやすいのではないかと思いますが行き詰ったときはグループの友達とスライドをみながら話してつくとよいでしょう。

発表原稿ができたなら、必ずスライドにあわせて読む練習をしましょう。

とくに、審査会で発表するときは普段の雰囲気と違うことから慌ててしまい、うまく読めなくなってしまうこともあります。練習を重ねれば重ねるほど、自分の読むペースがつかめるようになり、自信も湧いてきます。

うわーっ、緊張して上手く説明できなくなってる～

慣れない発表の場では思わぬことが起きやすくなったりも…

リラックスして取り組めるように練習しておくことが大事です。



8 審査員からの質問への準備をしておく

発表のためのプレゼンテーションづくりと合わせて準備しておきたいのが審査員からの質問があったときの説明方法です。

もちろん、申請書を作成する段階で、団体の活動の内容について把握はしているので大丈夫だと思いますが、お金の使い方や予算に関することや申請書の記載事項の疑問点を審査員が質問するケースもありますので、作成した申請書類や資料は発表前に今一度目を通しておくといよいでしょう。

質問に適切に答えることが出来れば、良い心象を得ることにつながります。



審査会には、自分の団体以外にも発表の時間が設定されています。
質問には、簡単に分かりやすく説明することが望ましいです。

9 おわりに

ここまで読んでいただきありがとうございました。

ここまで短い時間で、簡単にできるプレゼンテーションづくりをご紹介してきましたがいかがでしたでしょうか。

プレゼンテーションというと、何かすごいものを作らなくてはいけない！と思いがちですが、今回ご紹介した方法に当てはめて考えていただければ、伝わりやすいものが出来ると思います。

これをステップに、より良い発表が出来るようになり、皆さんの活動が充実していくことを願ってやみません。多治見市まちづくり活動補助金を使って活動してみたいと思った方、是非、お気軽に多治見市市民活動交流支援センターにご相談ください。

この資料が皆様の
お役に立つことを願っています。

